

みんなと一緒に

もっと話そう。 もっと知ろう。

エイズの
正しい知識
と予防法

監修 / (公財) エイズ予防財団

あなたは“エイズ”についてどれだけ知っていますか？「自分には関係ない」と思っていませんか？2013年に新たに報告されたHIV感染者数は1,106人、エイズ患者数は484人と過去最多となりました。

エイズは特別な病気ではなく、誰でも感染する可能性がある病気です。身近な問題としてとらえ、エイズについてもっと話し、もっと知りましょう。

HIV感染者 1,106人
エイズ患者 484人

HIV感染者 462人
エイズ患者 329人

2013年

2000年

資料：厚生労働省エイズ動向委員会報告
「平成25年エイズ発生動向年報」

OPEN ()



きちんと知ろう！ エイズのこと



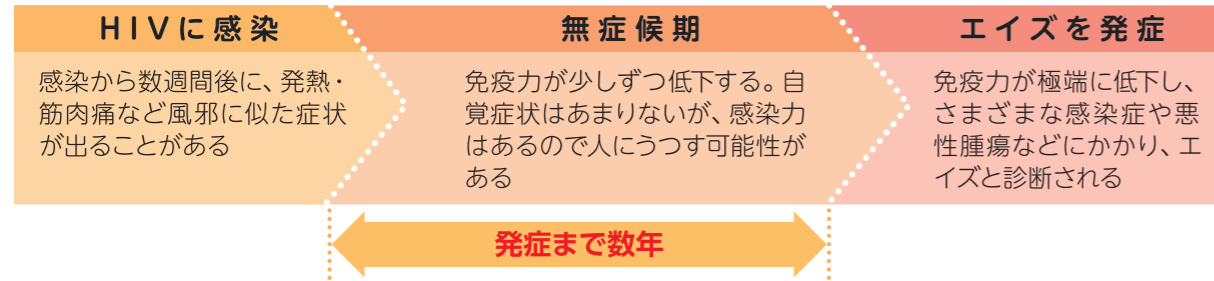
エイズとは

HIVというウイルスに感染すると、体を病気から守る免疫システムの中で重要な役割を果たすリンパ球が壊されて免疫力が低下し、健康な人なら自分の力で防ぐことができる感染症や悪性腫瘍などにかかりやすくなってしまいます。こうして発症する病気がエイズです。

エイズを完全に治す薬はまだありませんが、複数の薬剤を組み合わせる「多剤併用療法」によって、発症を予防する(大幅に遅らせる)ことが可能です。また、定期的に治療を受けることで、発症してもある程度症状をコントロールすることができるようになっています。

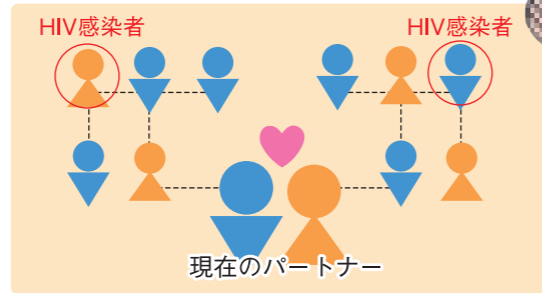
HIV 「ヒト免疫不全ウイルス」	エイズ発症の原因となるウイルス
エイズ 「後天性免疫不全症候群」	HIVに感染し、免疫力が低下することによって発症するさまざまな病気

● HIV感染からエイズ発症まで



感染ルートは3つ

HIVは、感染者の精液・膣分泌液、血液に存在し、体内に入ることによって感染します。日本での感染ルートの8割以上は性行為によるもの。予防をしない無防備な性行為が原因です。「自分には関係ない」と思っていたら大間違い！感染の可能性はどこにあるかは分かりません。



性行為感染

HIVに感染した人とコンドームを正しく使わないセックスをすることで感染

対策

コンドームを正しく使ったセーフセックスをする

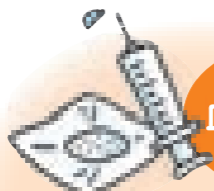


血液感染

麻薬の回し打ちなど注射器具の共有により、感染している血液が直接、体内に入り感染

対策

麻薬や覚せい剤などを使用しない
※日本の医療機関の注射器具は使い捨てなので心配はありません。



母子感染

HIVに感染している母親から、妊娠や出産、授乳で赤ちゃんに感染

対策

抗ウイルス薬の服用、帝王切開、人工栄養などで感染をほぼ抑えることができる



こんなことでは 感染しません！



<p>握手や軽いキスをしたり、せき、くしゃみ、汗、涙に触れる</p>	<p>吊り革や洋式便器、OA機器、文房具の共用</p>	<p>同じ食器やはしを使う、同じ皿の料理を食べる</p>
<p>お風呂やプールと一緒にいる</p>	<p>蚊やノミなどに刺される</p>	<p>国内の美容院・理容店の器具など</p>

HIVは感染力の弱いウイルスです。感染者との性行為や血液の接触がなければ、日常生活で知らずに感染することはありません！

※念のため血液に気をつけましょう。血液がつきやすいカミソリや歯ブラシ、ピアスなどは自分専用。※皮膚や服に血液がついたときには、すぐに水で洗い流しましょう。

検査を受けよう

エイズ(HIV)検査を受けたことはありますか？全国の保健所などで無料・匿名で受けられるので、気軽に相談・検査に行きましょう。ただし、血液中に抗体ができるまで6~8週間程度かかるため、確実な結果を得るには感染の心当たりのある行為から3か月以降の検査がよいでしょう。



保健所での検査の流れ

<h3>1</h3> <p>検査日時の確認と予約</p> <p>予約が必要な場合でも匿名でOK</p>	<h3>2</h3> <p>検査前相談 採血</p> <p>5ml程度の採血を行う</p>	<h3>3</h3> <p>結果説明</p> <p>1~2週間後、指定日に本人が聞きに行く ※電話や郵便、代理人では結果は聞けません。</p>
<p>陽性の場合</p> <p>検査の結果が陽性の場合、保健所から適切な医療機関が紹介されるので、必ず受診しましょう。早期発見・早期治療が大切です。</p>		
<p>検査目的の献血は絶対にやめて！</p> <p>献血しても、献血者には感染の有無は伝えられません。輸血された人に感染する可能性があるため、検査目的の献血はやめましょう。</p>		

HIV感染症以外の性感染症の予防も!

性行為によってうつる病気を性感染症(STI)といい、エイズも性感染症の1つです。若い世代を中心に感染者が増えています。放っておくと症状が悪化するだけでなく、HIVに感染しやすくなります。また、女性の場合は不妊症になったり、妊娠・出産時に母子感染する可能性も。性感染症は自然には治らないため、検査と治療が必要です。パートナーにも検査をすすめましょう。



HIV感染症以外の主な性感染症の症状

性器クラミジア感染症・トリコモナス症・淋菌感染症

- 男 排尿時の痛み。ペニスから膿が出る。
- 女 症状が出にくい。おりものの増加。下腹部の痛み。

梅毒

- 男 性器に大豆くらいのしこりができる。3か月ほどで全身に発疹など。
- 女

性器ヘルペス感染症

- 男 性器に米粒大の水ぶくれができ、かゆく、つぶれると痛みが変わる。
- 女 性器に潰瘍や水ぶくれができ、初めは激しい痛みと38℃以上の発熱。再発しやすい。

せんけい 尖圭コンジローマ

- 男 性器にかゆみや違和感を感じ、先のとがったカリフラワーのようなイボが多発。
- 女

B型肝炎

- 男 だるさや食欲不振などの症状に、発熱や黄疸を伴うことも。
- 女

エイズ便利帳

●電話で相談するには

■(公財)エイズ予防財団

☎ 0120-177-812

携帯電話からは 03-5259-1815

月曜～金曜(年末年始・祝日を除く)

10時～13時・14時～17時

●ホームページから情報を得るには

■エイズ予防情報ネット(API-Net)

<http://api-net.jfap.or.jp/>

携帯電話からは

<http://api-net.jfap.or.jp/i/>

■HIV検査・相談マップ

HIV検査・相談窓口情報サイト

<http://www.hivkensa.com/>

■HIVマップ

すぐに役立つHIVの総合情報サイト

<http://www.hiv-map.net/>

レッドリボンとは

レッドリボンは、あなたがエイズに関して偏見を持っていない、エイズと共に生きる人々を差別しないということを表すメッセージを込めたシンボルです。

